

## 個数計 FC-i/FC-Si シリーズ・WinCT-UFC 簡易取扱説明書

～データ処理ソフト WinCT-UFC による単重の一括登録方法～

# WinCT-UFC を使用して FC-i(FC-Si)の単重登録を一括で行う方法

個数計 FC-i(FC-Si)に ID や品目名、単重などの項目を大量に登録する場合、FC-i(FC-Si)が持っている UFC 機能と無償ソフト WinCT-UFC を使用することで、個数計側に一括で登録することができます  
一括登録することで、登録したい項目を1つずつ個数計に登録する作業から解放されます

## ～必要なもの～

- ・個数計 FC-i(FC-Si)
- ・データ処理ソフト WinCT-UFC (ver. 2.00 以降) **A&D のホームページからダウンロードできます**  
トップページ ⇒ 「サポート」 ⇒ 「ソフトウェアダウンロード」  
またはトップページ右上の検索ボックスで「WinCT-UFC」で検索
- ・PCと個数計を接続するケーブル **推奨ケーブル:USB コンバータケーブルセット AX-USB-9P(別売)**

必ず必要

## ～入力する方法は2種類～

- 1 WinCT-UFC に直接記入していく方法 /
- 2 Excel で一覧を作成して、一括で入力する方法

## ～～ ① WinCT-UFC に直接記入していく方法～～

① 個数計と PC をケーブルで接続

② WinCT-UFC を立ち上げ

[RS232C]タブから COM ポート/ボーレート/パリティ/データ長などを接続した個数計に合わせて設定

③ [Send Data]欄に送信するコマンドの文字列を 1 行ずつ記載する

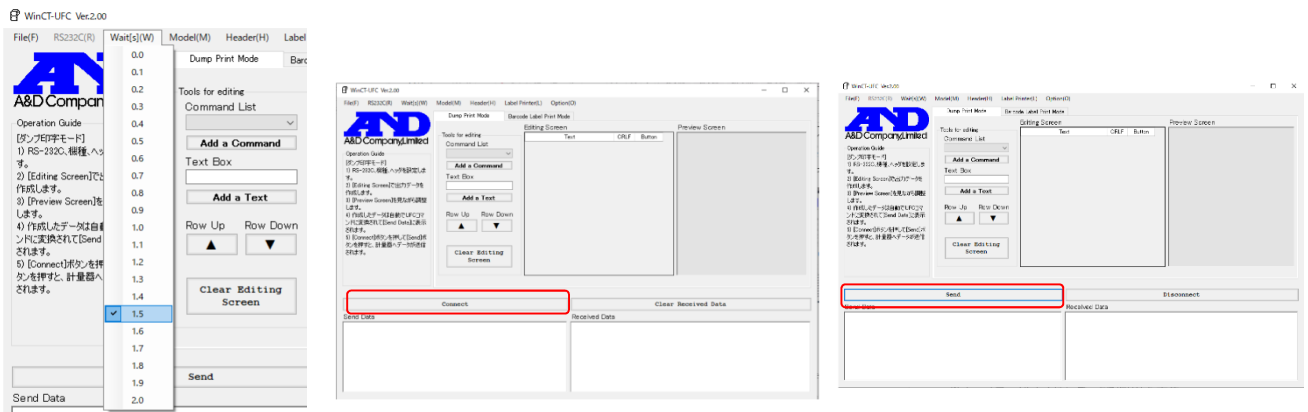
例) 単重と風袋重量を指定した ID メモリに記憶する場合 (コマンドは個数計本体の取説を参照)

ID ナンバー:100001、単重:12.34567[g]、風袋重量:10.23456[g] → MR,100001,12.34567,10.23456

《注意》FC-iとFC-Si シリーズでは、入力する重量の単位が違います

- ・FC-i: 単重単位 [g] 風袋重量単位 [kg]
- ・FC-Si: 単重単位 [g] 風袋重量単位 [g]

④ [Wait[s]]タブから「1.5」を選択 ⇒ [Connect]を押して、個数計と接続 ⇒ [Send]を押して送信開始



⑤ 問題なければ、[Received Data]欄に<AK>と表記される(コマンド毎)

所要時間:約 13 分 ( Wait=1.5s、データ数=500(max)、ボーレート=2400bps の時 )

## ～～ 2 Excel で一覧を作成して、一括で入力する方法～～

1) Excel にデータを入力 (コマンドやデータは個数計の取扱説明書を参照)

- 入力可能な項目:**
- ① ID: 数字(最大 6 文字) ← **必須項目**
  - ② 品目番号(IDメモリー): 英数字・カタカナ(最大 12 文字)
  - ③ 単重: 数字(最大 8 文字) ← **必須項目**
  - ④ 風袋重量: 数字(最大 8 文字)
  - ⑤ コンパレータ(上下限值): 数字(最大 9 文字)
  - ⑥ 合計値、加算回数

※最大文字数: 小数点、符号、小文字なども含む

入力例

「ID / 品目番号」

	A	B	C
1	コマンド	ID	品番
2	MI	100001	ワッシャー-A
3	MI	100002	ワッシャー-B
4	MI	100003	ワッシャー-C
5	MI	100004	ワッシャー-D
6	MI	100005	ナットA
7	MI	100006	ナットB
8	MI	100007	ナットC
9	MI	100008	AX-TB266
10	MI	100009	AX-T-314A-S

「ID / 単重 / 風袋重量」

	A	B	C	D
1	コマンド	ID	単重	風袋重量
2	MR	100001	12.34567	10.2345
3	MR	100002	5.2515	10.2345
4	MR	100003	10.22025	10.2345
5	MR	100004	8.38645	10.2345
6	MR	100005	9.544224	10.2345
7	MR	100006	12.34567	10.2345
8	MR	100007	3.354565	10.2345
9	MR	100008	5.554987	10.2345
10	MR	100009	9.65345	10.2345

「ID / 上下値・下限値」

	A	B	C	D
1	コマンド	ID	上限値	下限値
2	ML	100001	+101.0	+99.0
3	ML	100002	+101.0	+99.0
4	ML	100003	+101.0	+99.0
5	ML	100004	+101.0	+99.0
6	ML	100005	+101.0	+99.0
7	ML	100006	+101.0	+99.0
8	ML	100007	+101.0	+99.0
9	ML	100008	+101.0	+99.0
10	ML	100009	+101.0	+99.0

「ID / 合計値 / 加算回数」

	A	B	C	D
1	コマンド	ID	合計個数	加算回数
2	MA	100001	+6789	123
3	MA	100002	+6789	123
4	MA	100003	+6789	123
5	MA	100004	+6789	123
6	MA	100005	+6789	123
7	MA	100006	+6789	123
8	MA	100007	+6789	123
9	MA	100008	+6789	123
10	MA	100009	+6789	123

### Point

<1> 入力したい項目ごとに A 列の『コマンド』が決まっている (例 品目番号を登録する場合は「MI」と入力)

<2> 複数の項目を登録したい場合は、それぞれのコマンドごとにリストを作成～登録する

例 個数計に 品目番号と、単重と風袋重量を登録したい

- ① コマンド「MI」で品目番号を登録
- ② コマンド「MR」で単重と風袋重量を登録 ← 登録したい項目それぞれを FC-I に登録する

<3> 1 段目の項目タイトル「コマンド、ID、品番、単重」などは、任意の言葉で OK

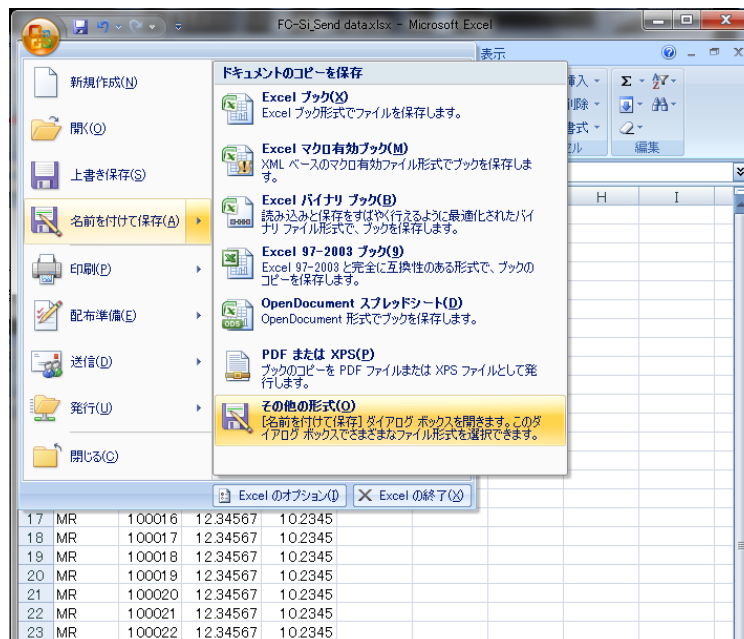
(実際に FC-I に入力する時に、この項目は削除するので、何と書いても関係ないから)

《注意》 FC-i と FC-Si シリーズでは、入力する重量の単位が違います

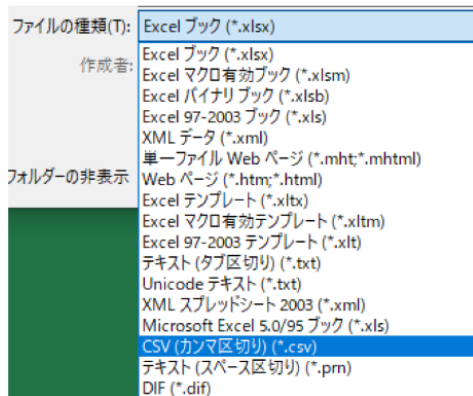
- ・FC-i: 単重単位 [g] 風袋重量単位 [kg]
- ・FC-Si: 単重単位 [g] 風袋重量単位 [g]

2) 形式を選択して保存

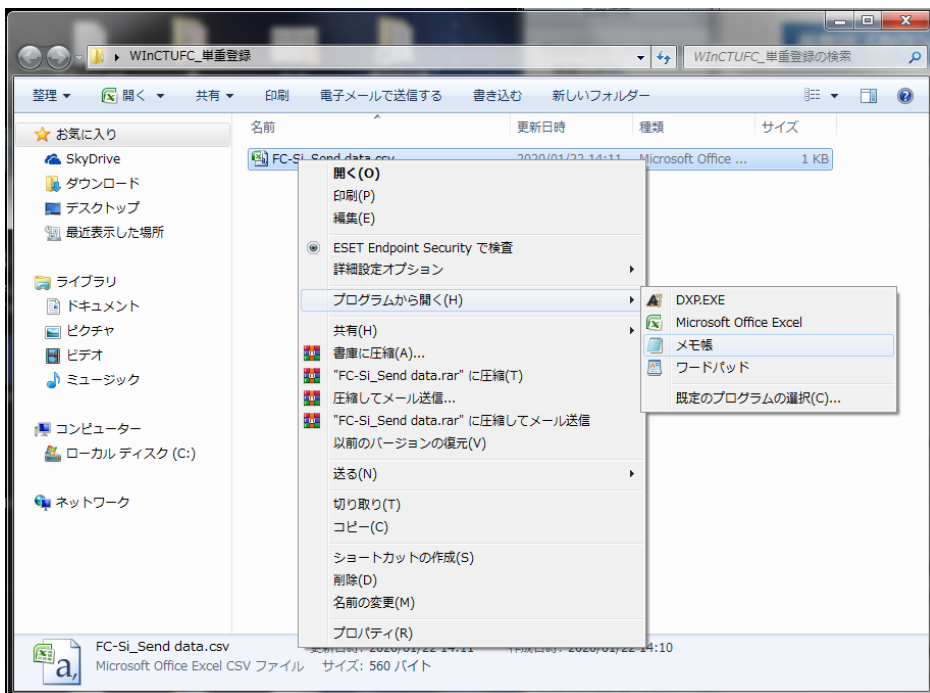
「その他の形式」を選択



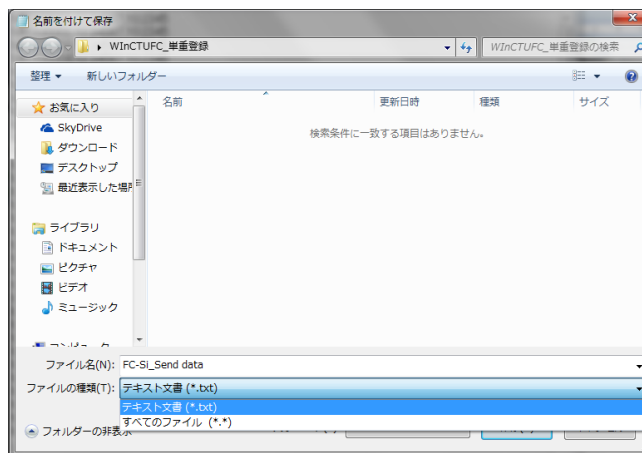
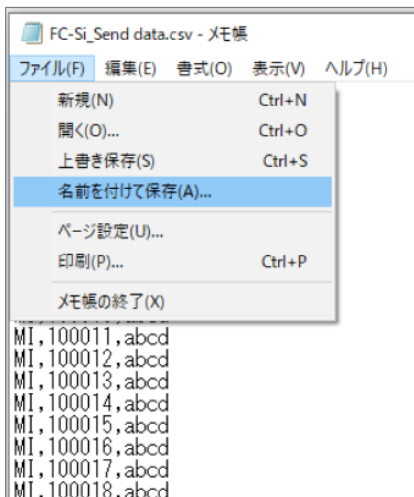
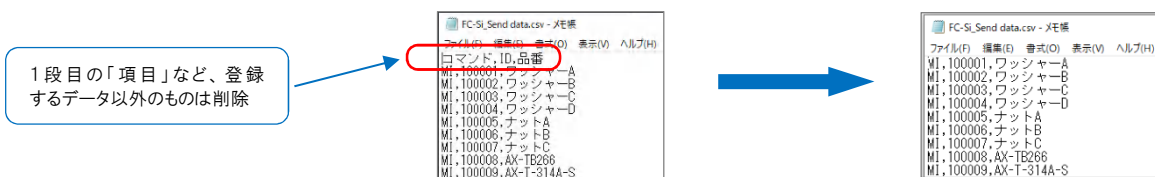
3) CSV を選択して保存



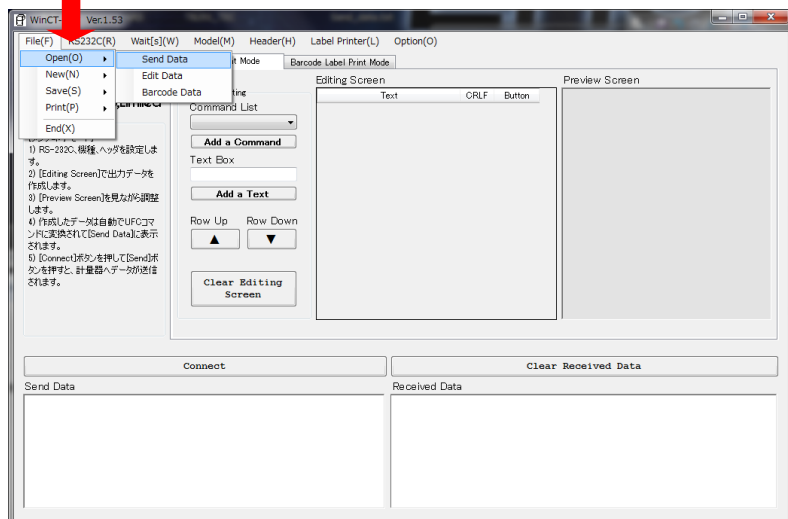
4) 保存した CSV ファイルをメモ帳で開く(CSV ファイルを右クリック→プログラムから開く→メモ帳)



5) 必要な文字列のみになる様に修正/確認したらテキストファイル(.txt)で保存

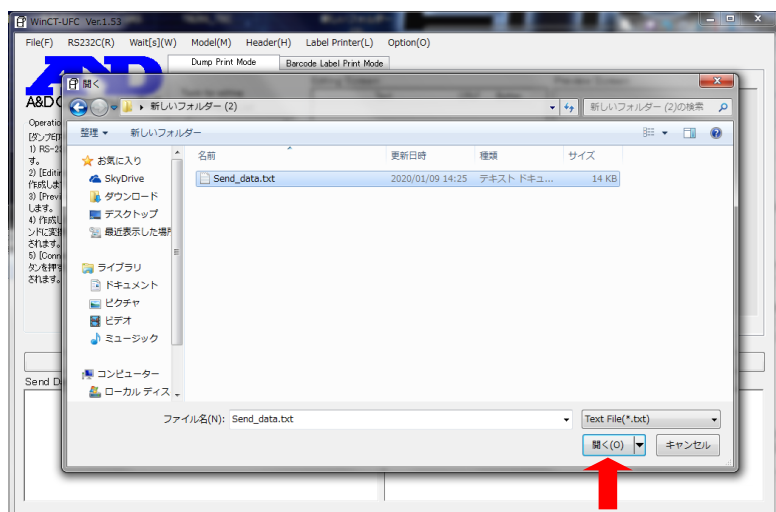


6) WinCT-UFC を開いて、[File]タブ→[Open]→[Send Data]

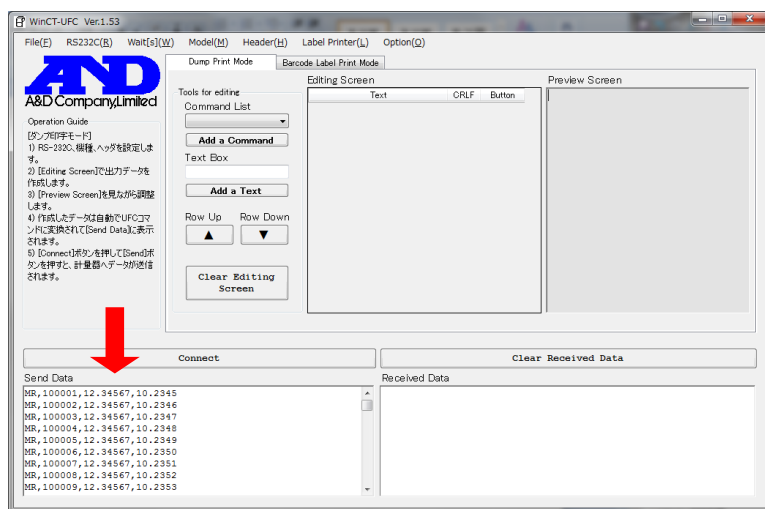


7) 予め送信データを編集しておいたファイル.txt を選択して開く

(CSV ファイルのままでも取り込み可能:ファイル形式を All Files に切り替えてファイル.csv を選択)



8) Send Data のテキスト欄にデータが記載される (テキストをそのままテキスト欄にコピー & ペーストも可)



以上